

成果指標				
成果指標	中心市街地商店街の活性化のために空き店舗を利用した活動の拠点である「いっぷく亭」の活動をとおり、商店街への人の動きを作り、通行量等の増を図る。			
指標設定の考え方	魅力ある商店街を目指して、中心市街地活性化基本計画の策定を視野に入れて、事業内容等について伊予商工会議所、商業協同組合、(株)まちづくり郡中等が核となって、中心市街地の活性化を図るための施策のお年寄りニーズを確認する基礎資料とする。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	目標22年度
目標	120	117	110	0
実績	115	106	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	<p>第三セクター(株)まちづくり郡中が中心となって中心市街地のに取り組んでいる中で、地域おこし協力隊も連携し、「いっぷく亭」や「来良夢」を活用した活動に取り組んでいる。商店街等に人が集まり、活気を取り戻せるよう地域住民が主役となった事業を展開しなければならない。</p> <p>また、まちづくり郡中が取り組んでいる中心市街地への移住及び起業支援も推進していく。</p>			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	<p>自己の課題認識のとおり、各種活動に取り組んでいます。今後、中心市街地の活性化のためには、今以上に既存商店街の自主的、主体的な活動が必要と思われるので、商店街組織が行う活動に対して積極的な支援を継続する必要がある。</p>			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題